タップルート財団について

タップルート財団は、プロボノ活動に従事する専門家を指導、動員、関与させることにより、社会変革を推進している。

2001年以来、**15万人以上の**プロフェッショナルが**190万時間**、**2億9,000万ドル以上の**プロボノ・コンサルティングを実施。

フォーチュン500社をはじめとする**110社以上の**企業に対し、従業員のプロボノ・プログラムの構築と推進に関するコンサルティングを行う。

© Taproot Foundation

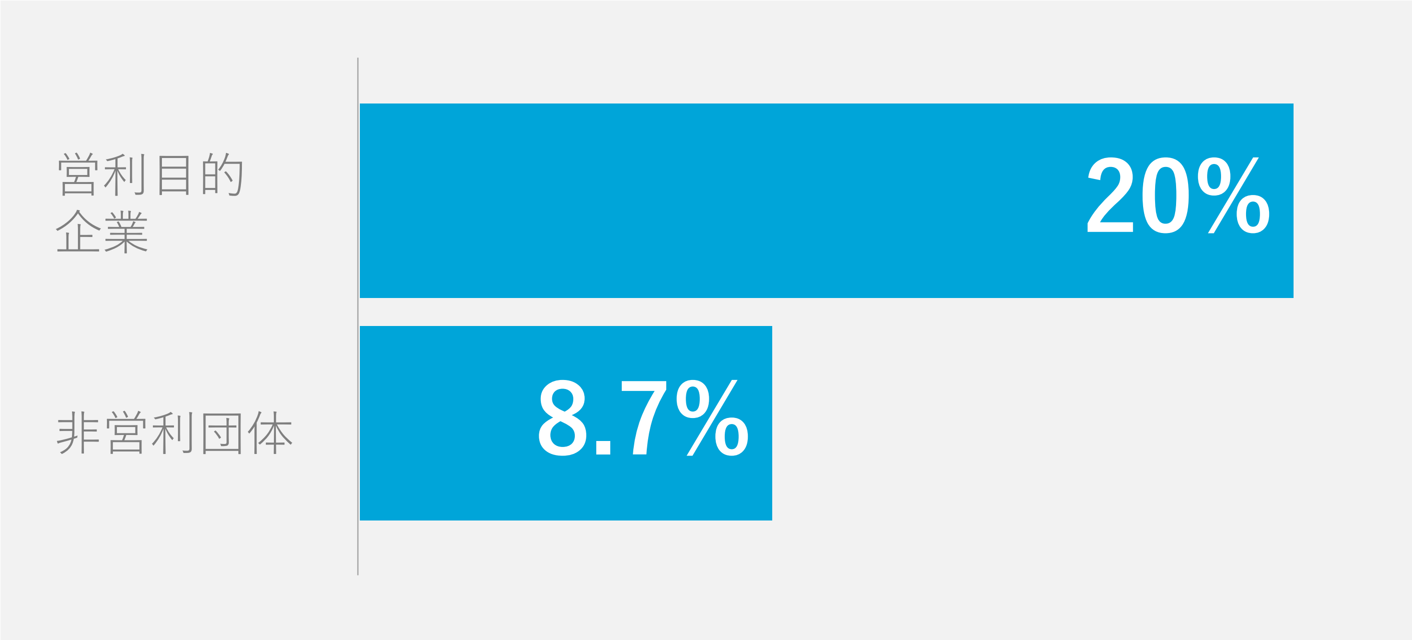
taproot FOUNDATION

© Taproot Foundation

チャレンジ

平均して、非営利団体は営利企業よりも内部インフラ投資がかなり少ない。

内部インフラ投資の平均支出額



「ソリューションを再定義する：Doing More with Less"、キャピタル・ワンとコモン・インパクト、2010年。

© Taproot Foundation

非営利団体への支援

企業が非営利団体を支援する方法はさまざまある。
リソース・ギャップに対処する。

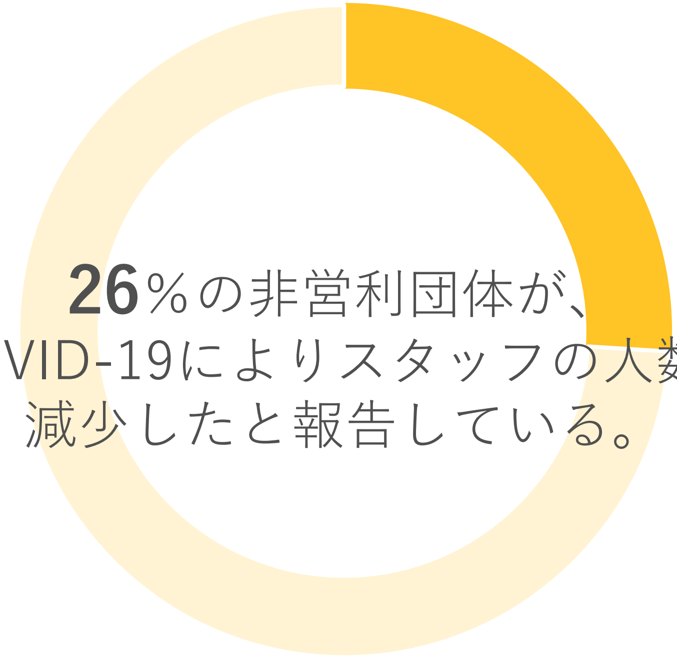
企業コミュニティ参画スペクトラム

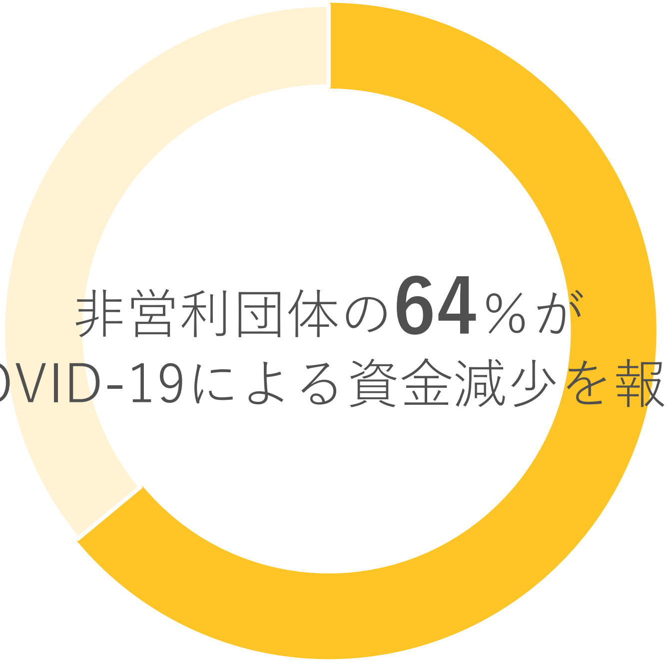
非営利団体ニーズ	資金調達	サービス／プログラムを提供するための人手		組織基盤とリーダーシップ	
カテゴリーボランティアサポート	財政支援	ハンズオンボランティア	スキルベース・ボランティア		
			一般技能	ボードサービス	プロボノ活動
一般的な活動例	▶ 現金補助金 ▶ マッチング・ギフト	▶ 遊び場の清掃 ▶ 炊き出し	▶ 家庭教師 ▶ 職業技能訓練	▶ ボードメンバーの配置 ▶ 役員研修	▶ IT支援 ▶ 広告デザイン ▶ 人事コンサルティング

© Taproot Foundation

taproot FOUNDATION

これまで以上に





© Taproot Foundation

非営利団体はスキルに基づくボランティア活動を必要としている

「今年はこれまでに10万ドルのプロボノサービスを受け、スキルも時間もお金もなかったが、私のウィッシュリストを成し遂げました。かけがえのないリソースです。

- ヴェルマ・ゲンツシュ（ハンド・イン・ハンド ペアレンティング事務局長

必要な分野

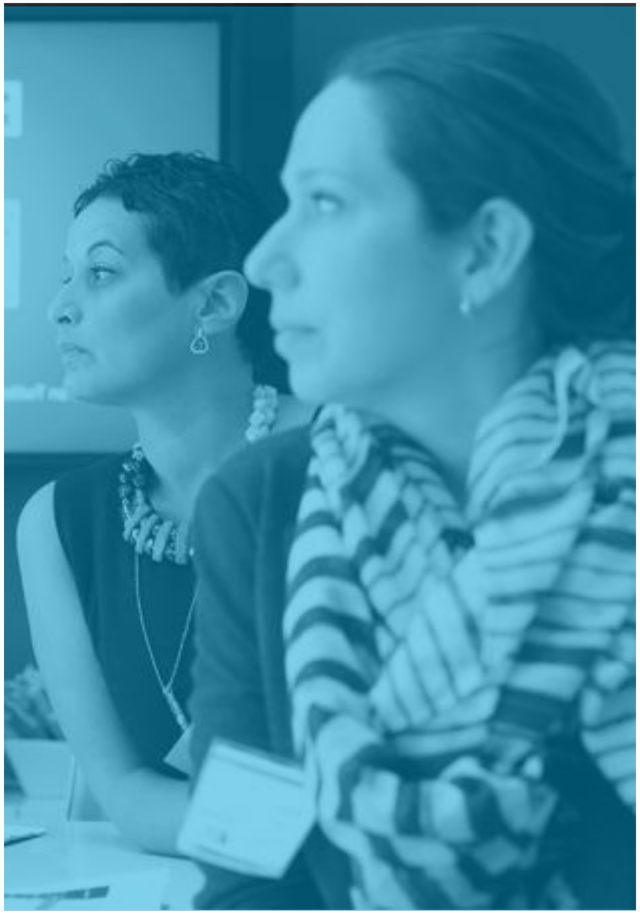
- マーケティング／コミュニケーション
- ソーシャルメディア戦略
- クリエイティブな資金調達キャンペーン
- 人事ポリシーの更新
- 財務再予測
- リスク回復力計画
- オペレーション／プロセス改善

© Taproot Foundation

従業員はサポートを提供したい

「多くの人々に影響を及ぼしている危機的な時期に、奉仕と恩返しの機会を持てたことに感謝している。前例のない事態に直面している組織に耳を貸すことができたのは素晴らしいことだった"

- 従業員参加者



© Taproot Foundation

インパクトを最大化する障壁

私たちは小さく考えすぎている

「私たちは、1日完結型のスキルベースのボランティア・プログラムを望んでいる。」

「1年目に1,000時間の勤務を記録する必要がある。」

© Taproot Foundation

インパクトを最大化する障壁

私たちは**大きく**考えすぎている。

「世界30カ所の全オフィスで同時にパイロットしよう。」
「ガンを治そう」

© Taproot Foundation

インパクトを最大化する障壁

トレードオフは考えない。

「200人の従業員に参加してもらいたい」

「プログラムは若手アナリストを巻き込まなければならない」

© Taproot Foundation

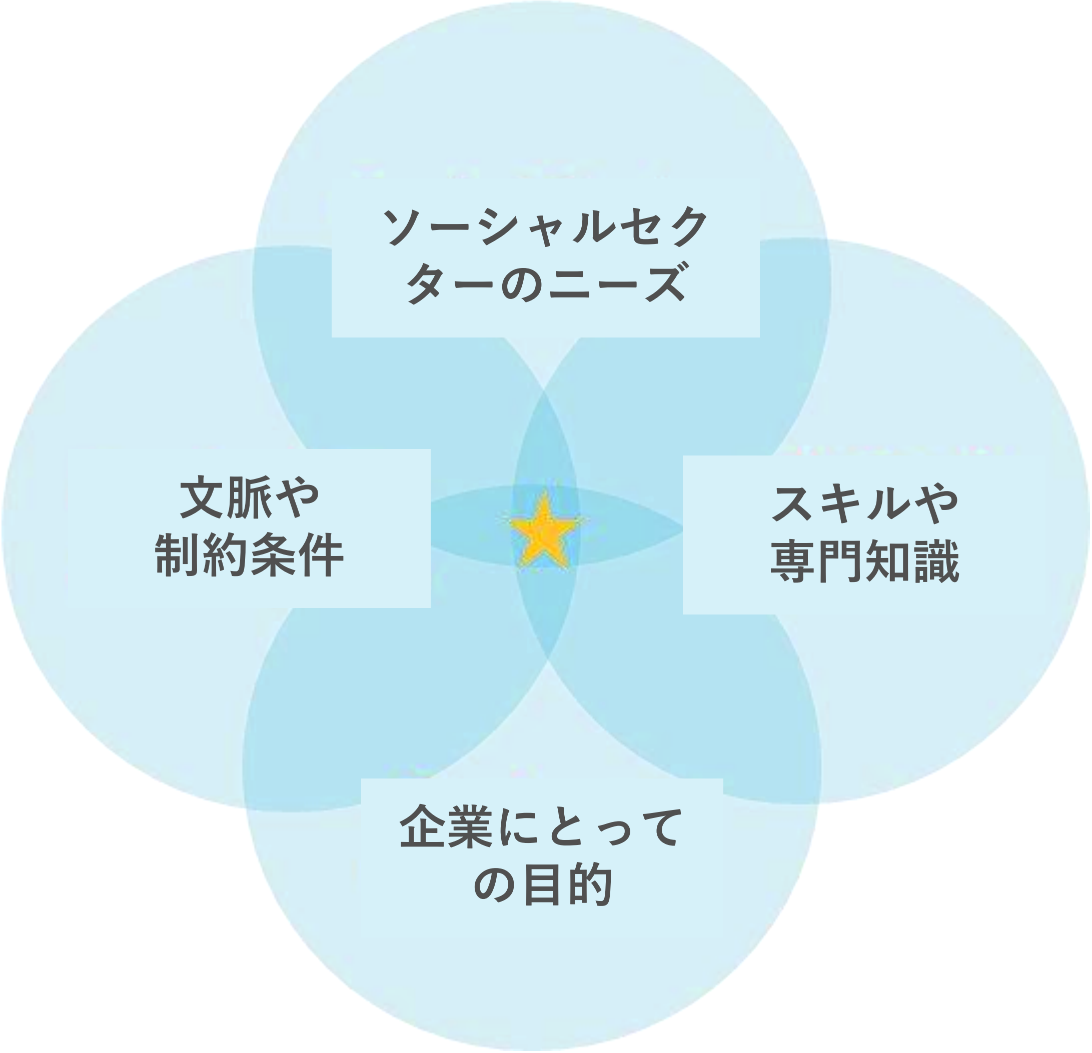
インパクトを最大化する障壁

私たちはリスクを避ける。

「このモデルを最初に試したくない」

© Taproot Foundation

プロボノのスイートスポット



© Taproot Foundation

プロボノ・スウィート・スポット

ソーシャルセクターのニーズ

プロボノ・プログラムでどのような社会的インパクトを与えることができるのか？

- **より広範な**受益者に支援を提供する
- 貴社にとって重要な**1つまたは複数の課題分野をサポートする。**
- 地域**社会への投資を**地域横断的に**深める**
- 受益者が**いる場所で**出会う

© Taproot Foundation

プロボノ・スウィート・スポット

スキルや専門知識

プロボノ・プログラムを補完するスキルや専門知識とは？

- 普段は活用できない**スキルセットを**活用する
- 御社が得意とする**一般的なスキル分野の**魅力を倍増させる
- **エンゲージメントが得られにくいオフィスや拠点に**いる従業員に普及している可能性のあるスキルセットや専門分野を活用する。

© Taproot Foundation

プロボノ・スウィート・スポット

企業にとっての目的

プロボノ・プログラムは企業にとっての目的にどのように貢献するのか？

- **新しい職場環境に対する**リーダーの心構え
- **変化を**効果的に**ナビゲート**し、**イノベーションを刺激する**
- **包括的で相互に結びついた労働力を**育成する
- 人々を**目的とコミュニティにつなげる**
- 会社の**評判を**高める
- 既存のイニシアチブの**効果を最大化する**

© Taproot Foundation

プロボノ・スウィート・スポット

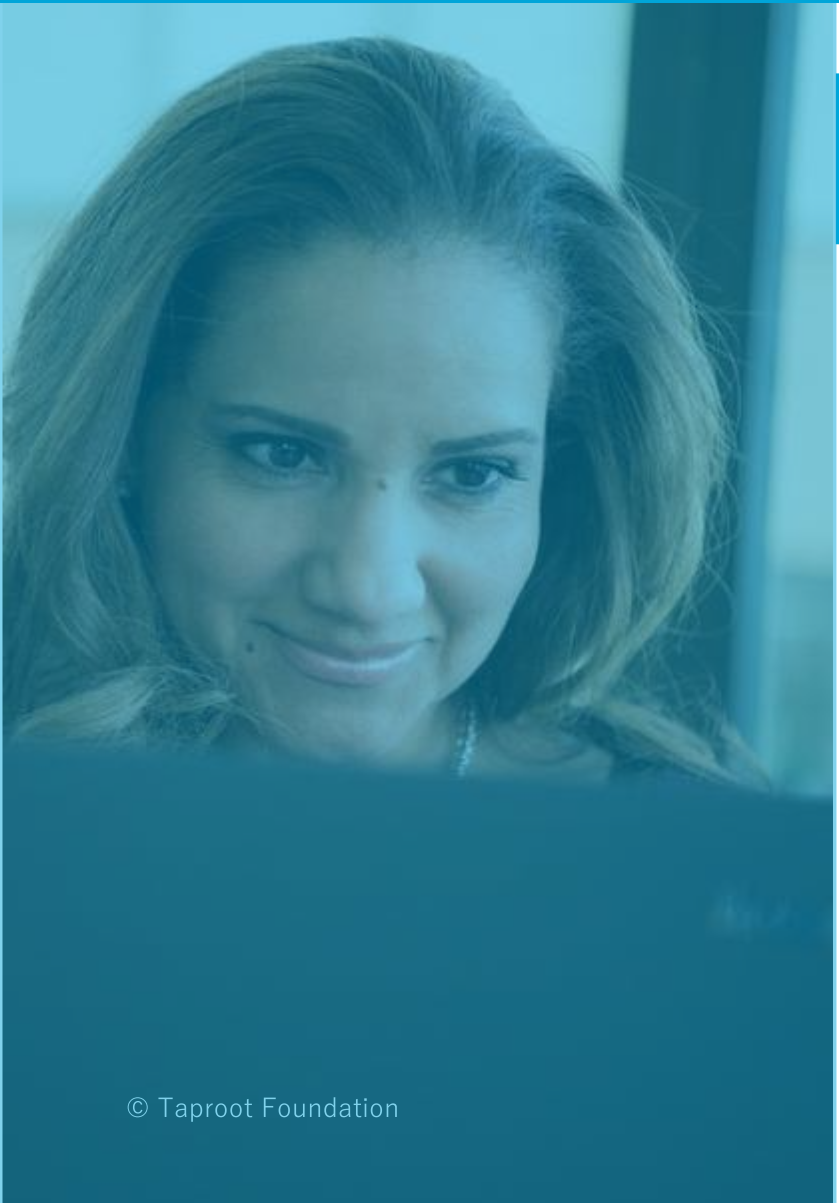
文脈や制約条件

企業は、どのような背景や制約のもとで、どのような行動をとる必要があるのだろうか。
バーチャル・プロボノ・プログラムを開発する際に考慮すべきことは？

- **ロジスティクス**（例：効果的なコラボレーションを可能にする、ビデオ会議プラットフォームだけではない）
- **期待値の設定**（プログラムの目的、範囲など）
- **チームビルディングとチーム構成**（役割と責任、信頼関係の構築など）
- **帯域幅**（例：非営利パートナーとプログラムに従事する従業員の両方の帯域幅）

© Taproot Foundation

可能性を描く



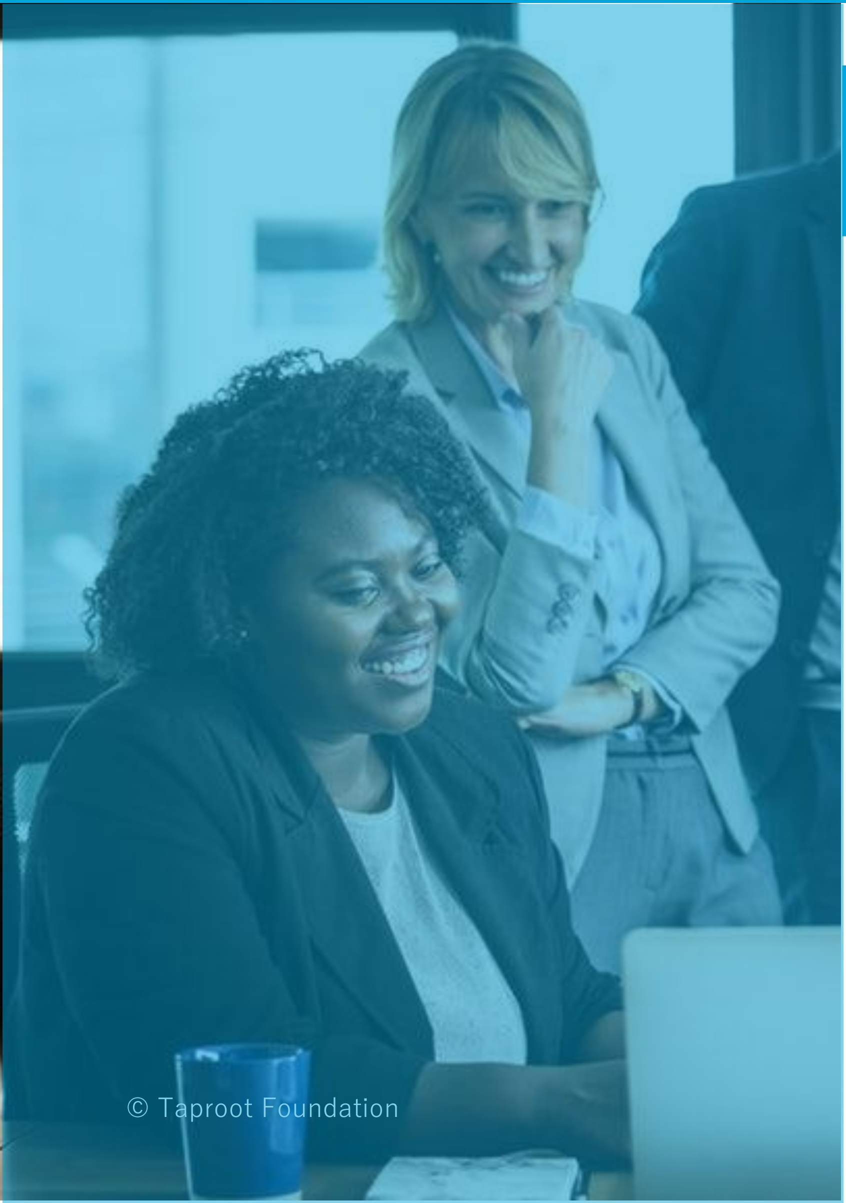
© Taproot Foundation

企業におけるプロボノ活動についてのビジョンは？

もし私たちが大成功を収めれば私たちのプログラムは…。

taproot FOUNDATION

ビジネスケースを作る



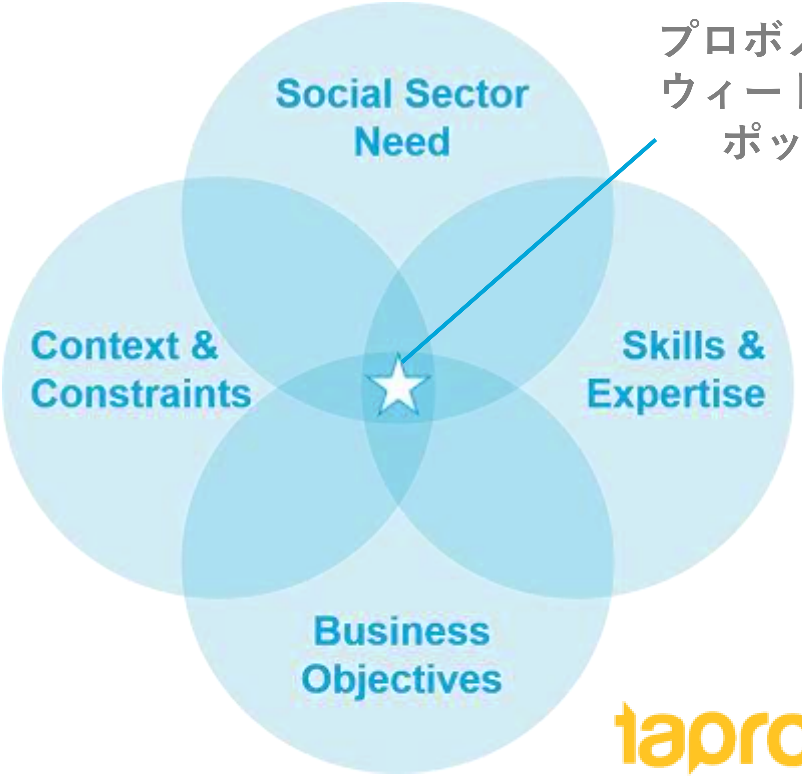
© Taproot Foundation

社内でどのようにプロボノ活動をアピールするか？

taproot FOUNDATION

戦略の策定

重要な考慮事項や設計パラメータには
どのようなものがありますか？



taproot FOUNDATION